

平成24年度 (社)栃木県建設業協会栃木県央県北地域支部と 宇都宮国道事務所との意見交換会 〈議事要旨〉

平成25年2月12日(火)、栃木県建設産業会館の会議室において、(社)栃木県建設業協会栃木県中央部北部地域支部（(社)宇都宮建設業協会、塩谷支部、那須支部）と、宇都宮国道事務所との意見交換会を開催しました。

建設業協会支部からは、各支部長をはじめとして14名が、また、宇都宮国道事務所からは、副所長をはじめとして7名が出席しました。（出席者名簿は別紙参照）

意見交換に先立ち、協会側、事務所側から以下の挨拶がありました。

【 挨拶 】

○栃木県建設業協会塩谷支部 渡辺支部長の挨拶

- ・常に安全第一で良い品質のものを納めて参るためにも、工事に関する諸問題などについて意見を交換させて頂きたい。

○宇都宮国道事務所 梶原副所長の挨拶

- ・今年度は、氏家矢板バイパス4車線化や新4号国道の6車線化供用を予定しており、また、新4号国道の春日部古河バイパスの暫定4車線化の事業を進めているところ。
- ・本日は、より身近に現場での諸課題について受発注者が問題意識を共有し、改善すべきことは改善して参りたいと思っているので、率直な意見交換をお願いしたい。



(社)栃木県建設業協会 塩谷支部
渡辺支部長の挨拶



国土交通省 宇都宮国道事務所
梶原副所長の挨拶

【 意見交換 】

協会支部との意見交換の内容は、以下のとおりです。

○支部からの主な意見

- ・ 工事の概略発注による担当技術者の負担の軽減をお願いしたい。
- ・ 継続学習制度と監理技術者講習会が二重負担であり、統一できないか。
- ・ 支払い価格を調査する“労務費調査”や“資材価格調査”では、景気が悪く支払いの実態も安くなり、価格も下がるというデフレスパイラルが起きている。
労務単価の上昇を要望する。
- ・ 今後、公共工事が発注されても作業員や現場代理人が不足して、対応できないなどが懸念される。

○これに対して事務所からは、以下のように応えています。

- ・ 工事発注は、詳細設計を行った上で発注するよう努めているところ。
- ・ 継続学習制度と監理技術者講習会は、各々の目的が異なるため、統一は困難。
- ・ 労務、資材の単価は、全国調査の上で決定している。労務単価の乖離問題など要望については、受注者の皆さんの強い声を上部機関に伝えたい。

最後に、今後も継続的に意見交換の場を設けていくとともに、随時コミュニケーションを図っていくことを双方確認しました。

平成24年度 (社)栃木県建設業協会栃木県中央部・北部地域支部と 宇都宮国道事務所との意見交換会 出席者名簿

日 時:平成25年2月12日(火) 14:00～16:00

場 所:栃木県建設産業会館 3階会議室

所 属		役 職	氏 名	備 考
(社)宇都宮建設業協会		(株)菊地組 代表取締役	菊池三紀男	副会長
		(株)野澤實業 代表取締役	野澤 充広	建設委員長
		(株)増淵組 土木開発部 統括部長	出口 功	
		渡辺建設(株) 土木部長	菊地 啓二	
(社)栃木県建設業協会	塩谷支部	(株)渡辺工務店 代表取締役	渡邊 武男	支部長
		大谷建設(株) 代表取締役	大谷 清	副支部長
		黒澤興業(株) 代表取締役	黒澤 清一	理事
		(株)小堀建設 営業本部長	漆原 秀彦	
		東昭建設(株) 土木本部長	広瀬 義隆	
		笹沼建設(株) 専務取締役	笹沼 功	理事
		岡村建設(株) 営業部長	岡村 哲夫	
	那須支部	(株)谷黒組 代表取締役	谷黒 克守	支部長
		(株)大岩建設 代表取締役	岩見 武	総務企画委員長
		(株)生駒組 代表取締役	生駒 憲一	広報委員長
宇都宮国道事務所		(技) 副所長	梶原 竹生	
		工事品質管理官	鹿島 秀昭	
		工務課長	原 清次	
		管理第二課長	高橋 進	
		計画課長	上田 信也	
		品質確保課長	鎌形 吉治	
		計画課 企画係長	白取三樹男	

(敬称略)